

令和7年度 東郷町立諸輪小学校 第4回学校運営協議会 議事録

日時：令和8年3月5日（木）

9時30分から12時00分まで

場所：東郷町立諸輪小学校 校長室

1 開会の言葉（進行：教頭）

諸輪小学校教頭：桑原先生より開会の言葉と日程説明

2 校長あいさつ

諸輪小学校校長：浅田先生よりあいさつ

3 議事

(1) 学校経営の振り返りと学校評価アンケート結果のまとめと分析について

校長及び教頭から説明あり。内容は以下のとおり。

・学校生活・挨拶について

→「学校生活が楽しい」との回答が90～95%と高評価を得た。

挨拶については、地域の皆様の声掛けのおかげで自発的な挨拶が定着してきている。

・学習・情報発信について

→「学習内容が分かりやすいか」という設問に対し、保護者から「分からない」という回答が一定数あった。HP等での発信は行っているものの、情報が十分に届いていない現状があり、今後周知の工夫が必要である。

・健康・安全（防災）について

→今年度は事前通告なしの実践的な避難訓練を実施。教員・児童ともに自ら考えて行動する訓練となり、成果があがった。

体力面（シャトルラン等）の数値が全国平均を下回る傾向があるため、体育の授業や外遊びを通じて継続的な体力向上に努める。

○質疑応答・意見交換

（委員）給食当番のエプロンについて、劣化しているものが多い。また、週末の洗濯・アイロンがけの負担が大きい。

他の家庭が洗濯したあとは柔軟剤の香りがきついこともあるので、個人のエプロンを持参してもよいなど、柔軟な運用について学校側で検討してほしい。

(教頭) 毎年チェックをして、ボロボロなものは買い替えている。学校から推奨しているわけではないものの、申し出があった場合はエプロンを自宅から持ってくることも許可しており、今後さらに運用を検討していく。

(2) (熟議)

①諸輪の子どもをさらに伸ばすために、学校の教育目標達成のために我々ができること
主な意見は以下のとおり。

- ・地域の見守りと挨拶について

→登下校の見守りや日常の挨拶を通じて、顔の見える関係性を築くことが安心安全に繋がる。

- ・ボランティア参加の促進について

→保護者や地域住民が学校の活動（クラブ活動や環境整備など）に参加しやすいよう、ハードルを下げる工夫が必要。

②諸輪小学校運営協議会テーマ

- ・「地域の子は地域のみんなで育てよう」「共に育つ」など、学校・家庭・地域の三位一体を強調する意見が多数挙げられた。

(3) 次年度の地域とかかわる行事予定について

- ・6年ボート体験

委員の尽力により今年度も開催することが決定した。

- ・5年田植え・稲刈り体験

未定

- ・味覚の授業

未定

- ・クラブ活動（豊信・将棋・囃子太鼓・棒の手）

諸輪の囃子太鼓や、学校運営協議会での紹介をきっかけに始まった、豊田信用金庫によるファイナンスクラブを実施予定。

将棋のみでクラブ活動を行うのは難しいことから、ボードゲームクラブの一環として行うかどうか検討中である。

棒の手をクラブ活動に取り入れたいと考えている。

- ・通学路点検・情報交換会

- ・東郷音頭体験

3年生の学習の中で行いたい。

- ・校外学習引率補助

- ・花壇等整備・ローゼルの植え付け等

(4) その他

- ・観音寺の御開帳（5/2.3.4.5）について（郷土の歴史に触れる講話）

（委員）次世代に継承し、持続可能な事業とするために、タイムカプセルを提案している。若者と地域の繋がりを再構築する機会としたい。

（教頭）17年に1度の行事ということで、地区の方に朝会にて話をしていただこうと考えている。地元に伝わる伝承を元にした絵本の読み聞かせ等を行ったり、小昼餅のレシピの募集を行い、児童の関心を深めていく予定。

- ・CS だよりについて

後期活動報告として発行予定。

5 連絡事項

教頭より連絡事項あり。

- ・児童数の減少等に伴い、来年度に向けて通学班の再編を行う。詳細については保護者宛に文書で通知する予定。

コーディネーターより退任の挨拶あり。

6 閉会の言葉

教頭から閉会の言葉あり。